

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	閉塞性大腸癌に対する経肛門的イレウス管と大腸ステントの治療成績を検討する後ろ向き多施設共同観察研究
	研究目的	閉塞性大腸癌に対して近年減圧を行って待期的に手術を行うことが多くなっているが、減圧方法について経肛門イレウス管と大腸ステントとの長期予後について比較検討した報告は少ない。本研究は、術前に経肛門イレウス管または大腸ステントによる減圧を行い根治切除を行った大腸癌症例のデータを収集し、臨床病理学的因子、長期予後を解析することで、両者の有用性について比較・検討を行うことを目的とする。
	研究対象者	2008年1月から2019年12月に当センター消化器外科にて大腸癌の治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2021年12月27日～西暦 2024年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	消化器外科 塩澤 学
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	消化器外科 横浜市立大学医学部 外科治療学 横浜市立大学市民総合医療センター 消化器病センター 神奈川県立足柄上病院 外科 国際医療福祉大学熱海病院 外科 済生会横浜市南部病院 外科 東京品川病院 外科 平塚共済病院 外科 秦野赤十字病院 外科 藤沢湘南台病院 外科 横浜南共済病院 外科・消化器外科